

## 平成 25 年 11 月八戸市教育委員会定例会会議録

- 1 開催日時 平成 25 年 11 月 26 日(火) 午後 2 時 00 分
- 2 場 所 市庁本館 3 階 議会第 1 委員会室
- 3 委員氏名
- |          |         |
|----------|---------|
| 委員長      | 武 輪 節 子 |
| 委員長職務代行者 | 築 瀬 眞知雄 |
| 委員       | 岡 本 潤 子 |
| 委員       | 大 庭 文 武 |
| 教育長      | 伊 藤 博 章 |
- 4 職員氏名
- |              |              |
|--------------|--------------|
| 教育部長         | 佐 藤 浩 志      |
| 是川縄文館長       | 小 林 和 彦      |
| 教育部次長兼教育総務課長 | 澤 田 多嘉男      |
| 教育部次長        | 嶋 脇 郁 夫      |
| 図書館長         | 津取場 重 行      |
| 学校教育課長       | 齋 藤 信 哉      |
| 教育指導課長       | 正部家 光 彦      |
| 社会教育課長       | 船 田 泰 寛      |
| 是川縄文館副館長     | 前 田 美智子      |
| 総合教育センター所長   | 井 上 貫 之      |
| 博物館副館長       | 小笠原 善 範 (欠席) |
| 北地区給食センター所長  | 中 里 親 弘      |
| 東地区給食センター所長  | 板 橋 稔        |
| 西地区給食センター所長  | 清 川 彦 一      |
| 市史編纂室長       | 藤 田 俊 雄      |
| 教育総務課参事      | 尾 崎 雅 祥      |
| 社会教育課参事      | 田 中 勉        |
| 教育総務課副参事     | 小笠原 光 則 (欠席) |

(事務局員) 教育総務課主査 佐藤 正 樹

武輪委員長	<p>ただいまから、平成25年11月の教育委員会定例会を開会いたします。 本日の議事録署名は大庭委員を指定いたします。 それでは教育長から、主な会議・行事等について説明をお願いいたします。</p>
伊藤教育長	<p>(資料に基づき説明)</p>
武輪委員長	<p>ただいまの説明につきまして、ご質問などありましたらお願いいたします。</p> <p>(質疑なし)</p>
武輪委員長	<p>それでは無いようですので、次に移ります。 本日は議案の提出がありませんので、報告事項に入ります。 はじめに、「宿泊を伴う校外行事及び野外活動（部活動遠征）の引率について」報告を受けることとします。</p>
齋藤学校教育課長	<p>(資料「宿泊を伴う校外行事及び野外活動（部活動遠征）の引率について」に基づき説明)</p>
武輪委員長	<p>ただいまの報告につきまして、ご質問などがありましたらお願いいたします。</p>
大庭委員	<p>1の(2)で教員の配置がなかなか難しいという状況は十分理解できます。それで外部コーチあるいは保護者等からの協力を得るということになったと思うんですが、その際の手当の問題なんですけれども、それは普通の教員が引率したときと同様に支給されると考えてよろしいですか。それとも保護者が負担するのでしょうか。</p>
齋藤学校教育課長	<p>様々なケースがあると思いますが、基本はやはりボランティアという形になると思います。ただし、もし事故等がある場合も想定されますので、その場面に応じた保険等に加入すると。これは、PTAからの協力を得て加入するためのお金をいただくというような形になると思います。</p>
大庭委員	<p>はい、分かりました。</p>
武輪委員長	<p>齋藤課長さんからの説明によりますと、むつ市では女子児童、女子生徒を引率する場合は、必ず女性の先生を引率に付けるということですが、八戸市では決まりとしては、その女性の先生を付けなければならないというような形には</p>

齋藤学校教育課長	<p>なっていないということでしょうか。</p> <p>部活動の引率に関しては、様々学校事情がありますので、規則とかそういう部分で縛りはかけておりません。あくまでも、その学校事情にあった形をとってくださいと。ただし、子どもたちの安全・安心ということを考えたときには、その責任の所在ということではやはり先生方が必ず引率してくださいと、これは大原則ですけれども、ただ複数にするに当たって、何人で引率しなさいとか、あるいは同性の教員が必ず付きなさいとか、そういった規定はしておりません。</p>
武輪委員長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>他に無ければよろしいでしょうか。</p> <p>それでは、次に移ります。「地域密着型教育推進事業について」報告を受けることとします。</p>
正部家教育指導課長	<p>(資料「地域密着型教育推進事業について」に基づき説明)</p>
武輪委員長	<p>ただいまの報告につきまして、ご質問などがありましたらお願いいたします。</p>
大庭委員	<p>この取組は非常に大切だと思います。その中でちょっと質問なんですけれども、課題の③のところで「学校と地域住民・保護者の双方向の情報発信」とありますが、これは非常に大切なことだと思います。それで、学校からの発信はある程度しやすいと思うんですね。ただ双方向となると、保護者からの発信ということ考えた場合に、何か具体的な方策というのは今考えられているものはありませんでしょうか。そして、もしそれが保護者からのものも学校でとなると、②との関連で、またそうすると教職員の負担が増えてくるということとも関連するかと思しますので、何かその保護者からの発信という部分で、これまでの経過の中で何かいい手立てとかがあれば教えていただければと思います。</p>
嘉瀬教育指導課 実践支援GL	<p>地域・保護者からの情報発信ということで、まず、小学校と中学校で各学校の行事のすり合わせ等を12月、1月頃に次年度のものをやっていたのですが、そのような場所に地域の団体の方が入って行事そのものを一緒にすり合わせるとか、あと実際に保護者の声、地域の方の声を学校便りに載せるとか、そういう取組をされております。あと今後考えられることとして、1月に実践発表会も行われるのですが、地域の方々へも参加の案内が広く周知されるような形でご案内して、保護者のご意見をそのような場所でも吸い上げることができるかなとも考えております。</p>

大庭委員	<p>分かりました。双方向にこういう話し合いを持ちながら、そこでも発信していただくと、学校便りとか以外にもそういうふうな方法があるということですね。ありがとうございます。</p>
築瀬委員	<p>大変嬉しいことだと思っています。私は4月、8月、10月の定例会で、この話題が出る度に地域密着については取り上げているのですが、この前お聞きしたら11月中に全部立ち上がるということをお聞きして、今日具体的に日程も載ってまして大変安心いたしました。大変ご苦労様だったなと思っています。</p> <p>それで、この中にもまとめた形で成果と課題もあるんですけども、ちょっと私がお聞きしたいのは、今年度新規に立ち上げられた学校があるんですが、その中で特徴的なこととか、何かお知らせしたいとか、これから知らせていくんでしようけれども、ちょっとこの場で何か特徴的なことがあったらお聞きしたいなと思います。もし、あまり特徴的なことがなければ今年度の新規立ち上げの雰囲気はどうだったのか、その辺りをちょっとお聞きしたいんですけども。それと1月の実践発表校はこれから・・・</p>
嘉瀬教育指導課 実践支援GL	<p>これからです。</p>
築瀬委員	<p>そうですか。では、特徴的な何か感じたことがあったらお知らせいただきたいと思うのですが。</p>
嘉瀬教育指導課 実践支援GL	<p>立ち上げに際しては、学校の今年度の経営方針や会則等について時間を割いていますので、協議会そのもので特徴的な話し合いというのは、まだあまりやられていないんですが、例えば多賀台地区であれば地域の防災関係ですね。百越階段という市川中から上がる階段があるそうですけれども、その防災に関する関係の協議がなされておりました。あと、逆に立ち上げが遅かった学校は、システムとして市の地域密着に関わらなくても、以前から地域と密着して様々工夫しているのでうちは改めてやるまでもないんだという話をするとところが大変多くて、まず地域と密着した活動がこれからスムーズに行われるのではないかなと考えております。</p>
築瀬委員	<p>ありがとうございました。今までもやっていたという地域は大体予想がつくのですが、ただやはりこの地域密着型教育というのは、何気なくやっていたことも意識すればこういう意味があるんですよとか、さっきのような双方向の交換とかですね。それから学校の姿をお互いにはっきりと認識できるという面で、今までやっていたものでも改めて組織してみる、あるいは振り返ってみることで</p>

	<p>て、そこがはっきりと見えてくると思うので、その辺も今までやっていたから良いのではなくて、きちんとこういうふうな形にすると見えてきますよというようなことで、これからも支援していただければ有り難いなと思って期待しておりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>それで最後ですが、細かいところですが、プリントの裏のところの平成25年度の18校というのは、ここ白山台小は・・・</p>
<p>正部家教育指導課長</p>	<p>平成23年度に立ち上がっております。今年度改めて小・中学校として立ち上がったということです。</p>
<p>築瀬委員</p>	<p>そうすると表の方の小・中学校という意味は一緒にやったという意味ですか。そこが私ちょっとごっちゃになっていたのです。</p>
<p>嘉瀬教育指導課 実践支援GL</p>	<p>ちょっと記述が他との区別を図っていなかったのですが、白山台小学校はすでに平成23年度に立ち上がっておりまして、今年度改めて中学校が立ち上げる際に小中一緒の協議会をやりたいということで、このような形にしております。</p>
<p>築瀬委員</p>	<p>小中合同でやるということですか。</p>
<p>嘉瀬教育指導課 実践支援GL</p>	<p>2校で1つの合同の協議会を立ち上げるということです。併せて比較して説明すると、⑬の湊小学校、湊中学校は「・」ではなくて「、」で書いているんですが、ここは湊小学校と中学校が別々の協議会、ただし同じ日に同じ場所で開催するというような意味で区別をしておりました。</p>
<p>築瀬委員</p>	<p>分かりました。それで納得できました。白山台小学校は前にやっているのにまた立ち上げたのかなと思ったので。そうすると前の白山台小学校の組織を改変して、小・中学校一緒のものにしていくという意味ですね。新しい形というか、田代小・中学校はもともと小・中学校で1個なんですけど、白山台は新しい形になるわけですね。そういうのも是非紹介していただければ有り難いなと思います。ありがとうございます。</p>
<p>岡本委員</p>	<p>先月だったと思うんですけど、「E d u c o」という教育情報誌があつて、私たちも頂戴するんですけど、ここでも全国の中で紹介されている記事を見まして、私たちにしてみればこの取組というのは本当に当たり前で、私も始めるときには当たり前に行っていることを何も仕事は増やさなくてもいいという考え方ではないんですけど、あえてする必要はどうかかなと思った事業だったんですけど、このように拝見したりいろいろな方のお話を聞きしていくと、</p>

	<p>大人としては本当に当たり前前に機能していて今さらそういうふうなと思うんですけれども、やはり子どもたちというのはあえて意識することによって、そこに学びもあるのかなというふうに思って、この事業はずっと拝見して参りました。ですから、意識していくということが子どもにとっては大事なので、大人もいわゆる組織を作ることにはなるんですけれども、その中から頂くものというのは大変大きいものなんだなということを感じた事業です。今回すべてがということで、それは八戸の当たり前ではあるんですけれども、全国にとってはまだまだ新しい事業の展開だということで、これからいろいろ視察とかあるのではないかなと思っていて、意外と私たちは当たり前なんですけれども、画期的な事業であるということをおもこれに拝見して改めて思いましたので、是非全体に広まってそれが本当にもう目を瞑っていても子どもたち自身も有り難いなと思える事業になっていただければいいなと思っております。どこか視察とか全国から問い合わせというのはあるものなんでしょうか。</p>
<p>嘉瀬教育指導課 実践支援GL</p>	<p>いくつかの市議会等から視察をいただいております。今年度も4つの市議会、前橋市、埼玉県戸田市、広島県の廿日市市、愛知県西尾市に隣の幸田町議会もいらっしゃっています。昨年度も10近くの市議会から視察に来ていただいております。併せて、先日埼玉県の入間市の教育委員の方々がこの地域密着とジョイントスクールの視察をしたいということで、こちらは学校の方を訪問するような形で行いました。</p>
<p>武輪委員長</p>	<p>私からもいくつか質問をさせていただきたいと思います。コーディネーターの研修会というのが年に3回あるのですが、このコーディネーターの研修会は、新たに新規の推進校のコーディネーターが研修する場なのか、それとも今まで始まっている学校のコーディネーターもすべて年3回研修を毎年毎年受けているものなんでしょうか。</p>
<p>正部家教育指導課長</p>	<p>これは新規に限らず、全部ということになります。一つは社会教育課の方でも地域支援本部事業というものをやっております、そのコーディネーターも来まして全部でやると。そうしたときには、4、5年前からやっている方々のそういうアイデアも新規立ち上げのコーディネーターもそこで行うということで、主にそういう事例発表の後に今度はグループ毎のディスカッションということで、非常に好評だと思っております。</p>
<p>武輪委員長</p>	<p>ありがとうございます。今大変いいお話を伺ったと思っているのですが、実はこの地域密着型推進事業が始まる前からいろいろな形でボランティアをしている方からちょっとお話を聞いたのですが、社会教育課の事業である教育支援ボラ</p>

<p>船田社会教育課長</p>	<p>ンティアの推進事業に前から携わっている方々が、昔より少し自分たちの居場所がなくなったというか、少し活気が無くなってしまったようだという声を聞いたことがありました。それは私からすると地域密着型教育の方がいろいろ進んで、そちらの方が頑張っているために教育支援ボランティアの方が少し役割が無くなっていったのかなというふうに勝手に想像したんですけども、今のお話ですと一緒にコーディネーターの研修会もされて一緒に進めているということなので大変安心いたしました。</p> <p>確かに地域支援本部事業とか地域密着型推進事業を推進する前には、総合教育センターに事務局を置いて教育支援ボランティア事業を実施しておりましたが、どちらかと言えば教育支援ボランティア事業は、いわゆる特別支援教育とか様々な用途だったんですけども、たまたま地域密着型が始まり、プラスして指導課でやっている緊急雇用とか特別支援アシスタントという有償のボランティアが始まり、そういった面で教育支援ボランティアの活動の幅が狭くなったというか、そちらの方で活躍されていてちょっと今教育支援ボランティアについては規模が縮小した形になっています。ただ、緊急雇用とかが無くなれば、また若干もう少し膨らんでくるのかなと思います。</p> <p>いずれにしても、基本は地域のことは地域でということで、地域のボランティアが地域の学校を支援していきましょうということで今進めておりますけれども、ただその他にも余力あって全市的にボランティアをやりたいという方はうちの方で引き受けてコーディネートしています。ただやはり、今本部事業とかそういうものがあるので、うちの方でやっている教育支援ボランティア事業は若干減っておりますけれども、アシスタント事業が無くなればまた需要は増えるのかなと思いますけれども、今度は人材が戻ってくるのかなという危惧もしております。</p>
<p>武輪委員長</p>	<p>ありがとうございます。いずれにしても、子どもたちのために地域を挙げて取り組んでいるという形は大変素晴らしいし、これからも進んで行って欲しいと思います。ただ私からすると、地域差がかなりあるようにも思っております。非常に地域密着型がうまく行って非常にいい形でどんどん進んでいる場所もあれば、かたや名ばかりの地域密着型推進事業という形で、会議なりいろいろしているけれども実際になかなかうまくそれが子どもたちのためとか、その地域のためにうまく活動しきれていない場所もあるんじゃないかなと思いますので、八戸市全体として良い方向に向いてくれればいいなと思っております。</p>
<p>武輪委員長</p>	<p>他によろしいでしょうか。</p>

武輪委員長	それでは次に「平成26年八戸市成人式について」報告を受けることとします。
船田社会教育課長	(資料「平成26年八戸市成人式について」に基づき説明)
武輪委員長	ただいまの報告につきまして、ご質問等ありましたらお願いいたします。
大庭委員	<p>以前にもこの成人式に出席して感じたのは、最後のふれあいタイムですね。私はこれは市としてはいい企画だなと思って見ておりました。ただ式典が終わって解散して若者たちがわーっと街に出るのではなくて、ここで少し旧交を温めるということで、いい企画だなと思っていました。そこで質問なんですけど、実際にこのふれあいタイムに参加した新成人の人たちの反応はどうなんでしょうか。好意的に捉えているのか、あるいは否定的なのか、その辺をちょっとお伺いしたいんですけども。</p>
船田社会教育課長	<p>成人式そのものは1時くらいから始まるんですけども、ピーク時が12時前後なんですけども、入り口に吹きだまってと言いますか、集合して、やっぱり同級生とか友達と会いたいという目的なのか寒いところで待っているんですよ。入れと言ってもなかなか入らないんですけども。やはり中学校を卒業してそれぞれ別な進路に進学とか就職とかして、久しぶりに会える機会、旧交を温める機会ということで、ぐるっと回って見ると「先生」とか黄色い声を出して、先生とか友達とかいろんな方と会える機会を、大庭委員がおっしゃるとおり皆さん非常に楽しみにしていると思います。本来私どもは八戸市に住所登録をしている方にしかご案内状を差し上げておりませんが、わざわざ友達に会いたいということで、東京に就職、進学した方もかなりの数の方が八戸市で成人式を迎えています。ただ、2,000人という数が来ておりますので、後追い調査はできませんけれども、そういった意味で昔の友人、先生と会う非常に良い機会だと私は思っております。</p>
大庭委員	<p>私も一教員であったということを振り返ってみて、卒業してからも生徒たちと付き合っていけるというのは、卒業してしまえば一対一で大人同士の付き合いができますので、先生にとっても一つの幸せだと思うんです。在校中だけではなくて卒業してからも生徒たちと付き合っていける、そういう意味で先生方もいろいろな事情があつて行きにくいところがあるのかもしれないけれども、できればこういうふうな場で先生方も卒業生たちと交流する場があれば、先生方にとっても良いのではないかなと考えていますので、新成人の反応はどんなものかなと思ってお聞きしました。ありがとうございました。</p>



武輪委員長	他にございませんでしょうか。
武輪委員長	私から質問してもよろしいでしょうか。アトラクションの和太鼓の木村さんという方は八戸出身の方ですか。
船田社会教育課長	<p>生まれは八戸で市川の方です。21、2歳の若い方でウルスラに入学されて演劇とかが大好きだったみたいで、卒業後、佐渡の鼓童に太鼓をやりたいということで研修生として2年間佐渡に渡ったみたいです。それから去年八戸に帰っているいろいろな活動をして、公民館で活動をしている和太鼓集団の講師をやったりしている方です。</p> <p>どういう形で和太鼓を披露してくれるかは、1人でやるのかグループでやるのか、そこはまだ詰めていませんけれども、木村さんが中心となってやっていたけるということになっております。</p>
武輪委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>平成25年の成人式のときに私申し上げたかと思うのですが、新しい風という八戸市の歌がありますけれども、この歌も実は児童生徒になかなか馴染みがなくて、成人式のときに初めて聞いたという成人の人たちもいるかなと思っておりました。私今これを見ていて一つ思ったのですが、今それぞれ市や地域のキャラクターが頑張っていますけれども、八戸にも「いかずきんズ」というのがありまして、その大会で「いかずきんズ」は54位だったかと思えます。千何百体の中の54位ですので大変いい順位だと思っているのですが、それを中学生の息子に「いかずきんズ頑張ってるね」という話をしたら、「いかずきんズって何？」という反応があったんです。ですので、もしも成人式のときに入り口で「いかずきんズ」が成人を待っていて、そこで写真を撮るなり、少しPRするのもいいかなと思ったんです。一生懸命いろんな形でいろんなことをしていながらも、実は八戸市民にも知られていなかったり、「そういうことがあったんだ」とか「そういうのをやっているだ」というふうには知られていないこともたくさんあるので、特に県外に出ている成人の人たちは「いかずきんズ」が54位になったことも知らないかも知れませんし、「いかずきんズ」の存在も知らない人たちが多いかもしいので、もしも入り口にいたら楽しいかなと思ってお話をさせていただきました。</p>
武輪委員長	それでは、その他事務局から報告事項はありますでしょうか。
武輪委員長	事務局からは以上のようなようです。それでは最後にその他ですが、委員の皆様方から何かございますでしょうか。

<p>築瀬委員</p>	<p>今年度の教育指導課、総合教育センター訪問が11月19日で終わったわけで、同行させていただいたお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。是非来年度もそのような機会を設けていただければ有り難いと思っております。</p> <p>私は10校ほど同行させていただいたのですが、前の定例会でもお話しましたが、実際に教室の中で特別支援アシスタントの方がどういう活動をされているのか、スタディーサポーターの方がどういう活動をされているのか、理科支援員さんがどのような立場で指導・助言されているのかを拝見させていただいて、非常に効果が大きいというのは現場で感じることなわけです。そういった現場を見ることによって、そういった人的配置が有効に働いているといったことを見させていただきました。それでこれから予算要求という場になるのですが、いつも申し上げているように、実際そういう現場では非常に大きな成果が上がっているという声があるわけで、さらに拡大して欲しいと学校の校長先生に言われるわけで、是非そういったことも踏まえて、これから予算要求等を頑張っていただきたいなと思っておりました。また、専門指導員の方とか、前回お話を聞いた健康増進課と一緒に言葉の教室の相談員を配置できているといった大きな取組もありますので、是非市長部局と連携しながらの取組を今後とも進めていただきたいなと思ってお話しました。本当にありがとうございました。</p>
<p>大庭委員</p>	<p>関連して私も10月から就任しましたけれども、小学校3校、中学校3校の学校訪問に同行させていただきました。大変有難かったです。私自身の勉強にもなりましたし、吸収もできましたので、改めて感謝と感想をちょっと述べさせていただきます。</p> <p>私は私なりに3つの視点を持ちながら、小・中訪問させていただきました。私なりに持った3つの視点というのは、1つ目は、いかに自己教育力を身に付けた子どもたちを社会に出してやるかという観点で見たところ、各小・中学校とも、例えば函南小学校であれば「問いを持ち考える授業」とか、あるいは根城小学校であれば「進んで学ぶ」とか、湊小では「自ら学ぶ」、長者中でも「学び合う」、それから是川中でも「進んで学ぶ」、第三中でも「進んで学ぶ」ということで、いかに自分で学んでいくかということが各学校の目標の中に取り込まれておりました。そして、実際に授業が展開されておりました。そういう意味で、やはり小学校・中学校のときからいかに自分で自分を高めていくのか、いかに自分で学んでいくのか、その姿勢を作ってくださいというふうなことに非常に有り難いなという思いがいたしました。</p> <p>それから2つ目の観点では、先ほど築瀬委員からもありましたように、特別支援に対する対応です。学内のいわゆる通級の支援を要する子どもたちがいる学校では、非常に一人ひとりに手厚く対応されているのを実際に参観させていただき</p>

武輪委員長	<p>ました。そういう個々への対応と同時に、その視点を持った全生徒に対応した授業展開、これは市の指導の方針にも盛り込まれておりますけれども、それも各学校で目標の中に取り込んで実際に実践されていると。この辺は課長さんあるいは所長さんが全体会の中でも指摘されておりましたけれども、改めてそこをお願いしますという話をされておりましたけれども、それが実際に実践されているなどという感想を持ちました。</p> <p>それから3つ目として、私なりの視点では自尊感情のところですね。自己肯定感を持った子どもたちを育てていきたいと。この自尊感情ということについて、これもやはり各学校で教育目標、努力目標の中に取り込まれて、そしてそれに対する取組がなされておりました。</p> <p>そういう意味で、私なりに関心を持っていた3つの点を特に見させていただいて、先生方は各学校でよく実際に取り組んでいらっしゃるんだなというふうな思いで参観させていただきました。そういう意味で、実際に参観をさせていただいて、同行させていただいて、そのような感想を持ちました。いろいろお邪魔になったと思いますけれども、ありがとうございました。</p> <p>それではこれを持ちまして、平成25年11月の教育委員会定例会を終了いたします。ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">(午後2時58分終了)</p>
-------	---